

第3講 家族法について補足

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 家族法に関するグループ別討論で欠けていた情報について補足的に講義

1 予備知識

1.1 法学論文に関する必要情報

- 著者と発表媒体
- 法律や判例の探しかた

1.2 日本の法律のつくられかた

- 立法と司法の仕組み (近代政府と2次ルール)
- 議員発議 (議員立法) と内閣発議 (閣法)
- 法務省と内閣法制局
- 憲法と違憲立法審査

1.3 日本の家族法の歴史

- 民法 (第4編「親族」と第5編「相続」)
- 戸籍
- 1878年民法草案、1890年民法典論争
- 1947年民法改正

2 生殖補助医療

Assisted reproductive technology (ART) とは

- 卵子・精子 受精卵 胚 胎児
- どのような形態の医療がおこなわれるか
- 法的規制と専門家の自主規制
- 自発性と強制性
- 産業としての生殖医療
- 出自を知る権利

- 個人情報をコントロールする権利と遺伝情報
- なぜ立法が遅れるのか（「臓器の移植に関する法律」(1997年法律第104号)との比較)

3 離婚給付

- キリスト教における「離婚」と alimony 制度
- 日本の離婚法の成立・改正経緯
- 明治民法における離婚
- 判例による「慰謝料」制度の確立
- 1947年民法改正時の「財産分与」の解釈（清算・扶養・慰謝料）
- 「1/2ルール」への移行
- 協議離婚・調停離婚・裁判離婚
- 年金分割

4 非嫡出子の相続

- 遺言と法定相続
- 遺留分
- 相続に関する協議と決定
- 1996年民法改正要綱案
- その後の経過
- 判例変更とは